

平成29年度学校評価（中間評価）職員による自己評価の集計結果

評価項目	平均点	回答ごとの割合				
		0	20	40	60	80
1 児童生徒一人一人の将来を見据え、小・中・高一貫した教育課程の編成と評価を行っているか。	3.03	11.1	80.6	8.3		
2 児童生徒の実態と教育的ニーズを的確に把握し、「個別的教育支援計画」に沿った「個別の指導計画」の作成と活用に使っているか。	3.00	8.8	82.4	8.8		
3 児童生徒一人一人の個性・特性を生かし、児童生徒の夢の実現を意識した授業づくりに使っているか。	3.06	11.4	82.9	5.7		
4 PDCAサイクルを機能させた指導法の工夫・改善への手立ては、具体的にとられているか。	2.91	8.8	73.5	17.6		
5 学校主題研究への主体的な取組により、教育課程の編成の視点等を踏まえた指導の充実・改善に使っているか。	2.97	11.4	74.3	14.3		
6 居住地校交流を含む交流及び共同学習は、本校及び相手校がそれぞれの目的を達成できるよう十分連携をとり、改善・工夫しながら実施できたか。	2.86	14.3	57.1	28.6		
7 訪問教育は、計画的な推進と地域への理解啓発に使っているか（スクーリングを含む）。	2.68	5.9	55.9	38.2		
8 人権意識を高め、児童生徒一人一人を大切にしかかわりを意識しながら指導に当たっているか。	3.00	11.1	77.8	11.1		
9 児童生徒一人一人のキャリア発達に応じた学習指導や進路指導に取り組んでいるか。	3.14	13.5	86.5	0.0		
10 関係機関との連携等により進路情報を収集し、職員及び保護者への進路情報の提供を行っているか。	3.29	28.9	71.1	0.0		
11 保護者・学園・医療機関等との連携を密にし、児童生徒の健康管理と健康の保持増進を図っているか。	3.32	35.1	62.2	2.7		
12 定期的な安全点検とヒヤリハットの事例の共有に努め、危険箇所へ適切に対応することができているか。	3.42	47.4	47.4	5.3	0.0	
13 危機管理マニュアルを基にした避難訓練（災害、緊急搜索、通学バス等）の実施と充実に使っているか。	3.18	23.7	71.1	5.3		
14 巡回相談やひまわり相談室、乳幼児相談会等の実施を通して、特別なニーズのある幼児児童生徒の支援や保護者の相談を行っているか。	3.50	50.0	50.0			
15 各園や学校等における特別支援教育の質的向上を目指し、研修支援やなかよう夏季セミナーを適切に実施することができたか。	3.39	39.5	60.5	0.0		
16 児童生徒・職員一体となり、環境整備や緑化に使っているか。	3.11	16.2	78.4	5.4		
17 教材・備品等の適切な整理・整備に努めるとともに、学習活動への活用を促進しているか。	2.97	8.1	81.1	10.8		
18 施設・設備の安全な維持管理に努め、教育的配慮に基づく改善を行っているか。	3.19	24.3	70.3	5.4		
19 学校教育目標や経営方針、学部・学級経営等について、保護者への説明は分かりやすく行われているか。	3.16	18.9	78.4	2.7		
20 校務分掌における各係や委員会は、連絡調整を図りながら適切に機能しているか。	3.11	10.5	89.5	0.0		
21 教育公務員として保護者や地域に信頼されるよう、服務規律の厳正確保に努めようという雰囲気が保たれているか。	3.34	34.2	65.8	0.0		
22 働きやすい職場となるように、業務の効率化を図るなどの改善・工夫を行っているか。	2.71	10.5	55.3	28.9	5.3	
23 学校評価の方法や自己評価の項目は、適切に設定され、結果を生かしているか。	3.11	10.5	89.5	0.0		
24 教育実践の成果の発信に使っているか（HPや学校自由参観週間、研修支援、なかよう公開と研修会等）。	3.03	11.1	80.6	8.3		
有効回答数：38/38 （回答率：100.0%）		□十分達成 □概ね達成 □やや不十分 □不十分				